

International People's College(IPC)について

私の学んでいる IPC は、フォルケホイスコーレと呼ばれる北欧全土に広がる成人教育機関の一つです。通常の公教育から独立して存在しているフォルケホイスコーレでは入学するための特別な資格は設けられておらず、17 歳以上であれば誰でも学ぶことができます。

IPC は他の伝統的なフォルケホイスコーレとは異なり、世界市民の育成を学校の中心的な理念としています。授業が全て英語で行われ、学生は約 30 か国以上から集うなど、国際性に富んだ学校です。年齢層も 17 歳から 50 代と幅広い学生が学んでいます。

Helsingør (ヘルシンガー) について

IPC が位置するヘルシンガーは、コペンハーゲンから電車で 40 分ほど北へ進んだところにある港町です。中心街の近くにはシェイクスピア『ハムレット』の舞台とされ、世界遺産としても登録されているクロンボー城があります。またクロンボー城の対岸にはスウェーデンが見え、フェリーで 20 分ほどでスウェーデンへ行けます。



IPC の校舎風景

授業について

授業は 1 コマ 90 分で、一日に 4 コマの授業（水曜日は 3 コマ）が行われます。デンマーク政府は授業費の 3 分の 2 を負担しており、学生は最低でも週に 14 コマ以上の授業をとるようになっています。

フォルケホイスコーレでは、教師が自由に授業内容を定めることができます。音楽・芸術やスポーツ、また国際関係論、ジェンダー、世界のそれぞれの地域について学ぶ科目というようにアカデミックな授業もあり、授業内容も多様性に富んでいます。

私は学期の前半でコーラスや劇といった自分を様々な方法で表現する授業や、ジェンダーについての授業、デンマークの教育や福祉などについて学び、実際に学校や施設を訪問する授業などをとっていました。後半では、デンマーク語、アフリカンスタディー、アジアについての授業、Human rights、などの授業をとっています。

授業の形態やスケールはそれぞれで異なります。ディスカッションを行う時には、世界中から集った異なるバックグラウンドを持った学生たちが意見を交わし、非常に活発な議論が行われます。



歴代の卒業生が集う Reunion Weekend に

授業外の活動について

授業外では、学生たちがそれぞれ興味のある活動を企画して取り組んでいます。ダンスやセルフディフェンスを教える学生、それを真似て体を動かす学生、環境問題について議論を行い森林保護のためのプロジェクトを企画する学生、他の学生に日本語を教える日本人学生も。(笑) サッカー好きの先生が提案してほぼ毎週末は池のほとりでサッカーを楽しむ学生たちの姿を見ることがもできます。

寮生活・学校生活について

フォルケホイスコーレでは学生たちはみな校内にある寮で生活をしています。一人部屋と二人部屋に分かれていますが、学生たちが同じ屋根の下で共に生活をするなかで、日中の授業で学ぶことだけでなく、日常の生活を通して様々なことを学ぶことができます。

フォルケホイスコーレでは自分自身が経験することで、自分は何が好きなのか、この先の自分の人生で何をしたいのかに気付くことができます。世界中から来る学生たちと毎日家族のように過ごし、今まで知らなかった自分に気付き、さらに見つめ直せる自分にとっての第二の「home」がこのフォルケホイスコーレ、IPC です。